



平成19年2月期 個別財務諸表の概要

平成19年4月19日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東証第一部、大証第一部
 コード番号 2292 本社所在都道府県 兵庫県
 (URL <http://www.sfoods.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 村上 真之助
 専務取締役
 問合せ先責任者 役職名 経営管理本部長 氏名 富沢 進 TEL (0798)43-1065

決算取締役会開催日 平成19年4月19日 配当支払開始予定日 平成19年5月25日
 定時株主総会開催日 平成19年5月24日 単元株制度採用の有無 有(1単元500株)

1. 19年2月期の業績 (平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(1) 経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期	75,633	6.0	2,171	133.5	2,417	84.0
18年2月期	71,352	97.6	930	3.7	1,313	21.3

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	%	%	%
19年2月期	1,182	71.3	36	68	—	4.3	6.8	3.2
18年2月期	689	13.3	21	47	—	2.7	4.0	1.8

(注) ① 期中平均株式数 19年2月期 32,225,233株 18年2月期 32,132,797株
 ② 会計処理の方法の変更 無
 ③ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率であります。

(2) 財政状態 (注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭
19年2月期	36,056		27,720		76.9	860	29
18年2月期	34,587		26,933		77.9	835	73

(注) ① 期末発行済株式数 19年2月期 32,222,146株 18年2月期 32,227,413株
 ② 期末自己株式数 19年2月期 45,575株 18年2月期 40,308株

2. 20年2月期の業績予想 (平成19年3月1日～平成20年2月29日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
中間期	39,000		1,300		700	
通期	80,000		2,800		1,500	

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 46円55銭

3. 配当状況

・現金配当

	1株当たり配当金			配当金総額	配当性向	純資産 配当率			
	中間期末	期末	年間						
	円	銭	円	銭	百万円	%			
18年2月期	8	00	8	00	16	00	515	74.5	1.9
19年2月期	8	00	8	00	16	00	515	43.6	1.9
20年2月期 (予想)	10	00	10	00	20	00		43.0	

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料6ページをご参照ください。

1. 財務諸表等

財務諸表

① 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年2月28日)		当事業年度 (平成19年2月28日)		比較増減	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	※1	3,165,547		5,972,573		2,807,026	
2 受取手形		87,703		78,571		△9,132	
3 売掛金	※5	6,718,461		6,729,686		11,224	
4 有価証券		53,828		174,652		120,823	
5 商品		2,561,769		2,157,111		△404,657	
6 製品		1,157,444		1,142,952		△14,492	
7 原材料		161,236		174,374		13,138	
8 仕掛品		25,261		25,644		382	
9 前渡金		455,420		584,690		129,270	
10 前払費用		—		35,464		35,464	
11 為替予約評価差額		82,485		99,951		17,465	
12 関係会社短期貸付金		5,000		—		△5,000	
13 繰延税金資産		202,530		211,438		8,907	
14 その他		373,663		296,617		△77,045	
貸倒引当金		△66,118		△80,027		△13,908	
流動資産合計		14,984,234	43.3	17,603,701	48.8	2,619,466	
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	※1	5,795,765		5,790,389		△5,376	
減価償却累計額		△3,510,514	2,285,250	△3,686,844	2,103,544	△176,329	△181,705
(2) 構築物		395,955		388,335		△7,619	
減価償却累計額		△284,817	111,137	△297,830	90,505	△13,012	△20,632
(3) 機械及び装置		5,183,566		5,168,090		△15,476	
減価償却累計額		△4,539,241	644,325	△4,522,598	645,491	16,643	1,166
(4) 車両運搬具	※2	608,370		577,051		△31,318	
減価償却累計額		△478,924	129,446	△433,348	143,702	45,575	14,256
(5) 工具、器具及び備品		833,348		813,345		△20,003	
減価償却累計額		△546,243	287,105	△564,225	249,120	△17,981	△37,985
(6) 土地	※1		3,357,604		3,345,174		△12,430
(7) 建設仮勘定			—		123,567		123,567
有形固定資産合計		6,814,869	19.7	6,701,105	18.6	△113,763	
2 無形固定資産							
(1) 営業権		2,515,103		1,738,827		△776,275	
(2) ソフトウェア		156,063		151,069		△4,994	
(3) 施設利用権		3,682		4,128		446	
(4) 電話加入権		26,005		26,005		—	
無形固定資産合計		2,700,855	7.8	1,920,030	5.3	△780,824	

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年2月28日)		当事業年度 (平成19年2月28日)		比較増減	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券		2,001,582		2,121,289		119,707	
(2) 関係会社株式		4,337,070		4,600,603		263,532	
(3) 出資金		—		6,000		6,000	
(4) 長期貸付金		46,790		146,952		100,162	
(5) 従業員長期貸付金		—		3,582		3,582	
(6) 関係会社長期貸付金		2,709,695		1,879,875		△829,820	
(7) 更生等債権		233,240		242,224		8,984	
(8) 長期前払費用		48,461		42,379		△6,082	
(9) 差入保証金		419,841		361,932		△57,909	
(10) 諸入会金		221,849		163,574		△58,275	
(11) 繰延税金資産		173,141		319,027		145,885	
(12) その他		189,449		203,157		13,708	
貸倒引当金		△293,398		△258,748		34,649	
投資その他の資産合計		10,087,724	29.2	9,831,850	27.3	△255,873	
固定資産合計		19,603,448	56.7	18,452,987	51.2	△1,150,460	
資産合計		34,587,683	100.0	36,056,689	100.0	1,469,005	
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金	※1 ※5	4,083,964		4,517,109		433,145	
2 未払金		1,096,894		1,117,550		20,655	
3 未払費用		127,088		149,617		22,528	
4 未払法人税等		318,761		925,252		606,491	
5 預り金		29,213		10,383		△18,829	
6 賞与引当金		311,425		362,859		51,434	
7 繰延ヘッジ利益		48,691		—		△48,691	
8 その他		4,502		206,661		202,158	
流動負債合計		6,020,540	17.4	7,289,434	20.2	1,268,893	
II 固定負債							
1 長期未払金		1,239,000		619,500		△619,500	
2 退職給付引当金		189,030		210,565		21,535	
3 役員退職慰労引当金		205,739		216,948		11,209	
固定負債合計		1,633,769	4.7	1,047,013	2.9	△586,755	
負債合計		7,654,310	22.1	8,336,448	23.1	682,138	

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年2月28日)		当事業年度 (平成19年2月28日)		比較増減	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
(資本の部)							
I 資本金	※3	4,298,354	12.4	—	—		
II 資本剰余金							
1 資本準備金		11,881,796		—			
2 その他資本剰余金							
(1) 自己株式処分差益		70,577		—			
資本剰余金合計		11,952,374	34.6	—	—		
III 利益剰余金							
1 利益準備金		590,000		—			
2 任意積立金							
(1) 特別償却準備金		50,155		—			
(2) 別途積立金		8,000,000		—			
3 当期末処分利益		1,657,475		—			
利益剰余金合計		10,297,631	29.8	—	—		
IV その他有価証券評価差額金		413,126	1.2	—	—		
V 自己株式	※4	△28,113	△0.1	—	—		
資本合計		26,933,373	77.9	—	—		
負債・資本合計		34,587,683	100.0	—	—		

区分	注記 番号	前事業年度 (平成18年2月28日)		当事業年度 (平成19年2月28日)		比較増減	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金				4,298,354	11.9		
2 資本剰余金							
(1) 資本準備金				11,881,796			
(2) その他資本剰余金				70,766			
資本剰余金合計				11,952,562	33.2		
3 利益剰余金							
(1) 利益準備金				590,000			
(2) その他利益剰余金							
特別償却準備金				41,681			
別途積立金				8,000,000			
繰越利益剰余金				2,332,330			
利益剰余金合計				10,964,012	30.4		
4 自己株式				△33,867	△0.1		
株主資本合計				27,181,062	75.4		
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券 評価差額金				480,207	1.3		
2 繰延ヘッジ損益				58,971	0.2		
評価・換算差額等合計				539,178	1.5		
純資産合計				27,720,240	76.9		
負債・純資産合計				36,056,689	100.0		

② 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)		当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)		比較増減	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	
I 売上高							
1 製品売上高		35,939,288		40,473,070		4,533,781	
2 商品売上高		35,412,995	71,352,283	35,160,547	75,633,617	△252,448	4,281,333
II 売上原価							
1 期首製品たな卸高		697,240		1,157,444		460,203	
2 合併による受入高		137,572		—		△137,572	
3 当期製品製造原価		30,968,851		33,125,523		2,156,671	
4 当期外注製品仕入高		598,692		814,401		215,709	
合計		32,402,357		35,097,368		2,695,011	
5 他勘定振替高		43,827		36,801		△7,026	
6 期末製品たな卸高		1,157,444		1,142,952		△14,492	
製品売上原価		31,201,085		33,917,615		2,716,529	
7 期首商品たな卸高		1,540,742		2,561,769		1,021,026	
8 合併による受入高		407,895		—		△407,895	
9 当期商品仕入高		33,690,174		33,031,585		△658,589	
合計		35,638,812		35,593,354		△45,458	
10 期末商品たな卸高		2,561,769		2,157,111		△404,657	
商品売上原価		33,077,043	64,278,129	33,436,243	67,353,858	359,199	3,075,729
売上総利益			7,074,154		8,279,759		1,205,604
III 販売費及び一般管理費							
1 販売促進費		123,369		103,546		△19,823	
2 広告宣伝費		29,591		7,357		△22,234	
3 運賃・倉庫料		1,029,190		1,049,573		20,383	
4 貸倒引当金繰入額		96,932		116,998		20,066	
5 役員報酬		119,515		118,749		△766	
6 給料手当		1,354,036		1,324,568		△29,467	
7 雑給		48,055		41,473		△6,582	
8 役員賞与		—		13,300		13,300	
9 賞与引当金繰入額		228,359		248,973		20,614	
10 役員退職慰労引当金繰入額		10,075		11,209		1,134	
11 退職給付費用		37,483		38,547		1,064	
12 法定福利費		251,592		240,312		△11,279	
13 福利厚生費		33,933		36,231		2,297	
14 交際費		70,756		76,535		5,779	
15 旅費交通費		150,558		70,412		△80,145	
16 車輛費		—		315,780		315,780	
17 通信費		92,802		88,039		△4,762	
18 水道光熱費		134,199		108,735		△25,463	
19 消耗品費		35,849		16,370		△19,478	
20 租税公課		112,426		125,827		13,400	
21 減価償却費		278,618		278,491		△126	
22 営業権償却		776,275		776,275		—	
23 修繕費		24,671		16,299		△8,372	
24 保険料		41,746		6,475		△35,270	
25 賃借料		254,147		218,531		△35,616	
26 支払手数料		177,191		177,007		△184	
27 寄付金		3,493		790		△2,703	
28 研究開発費	※1	107,384		86,219		△21,164	
29 その他		521,824	6,144,080	395,700	6,108,333	△126,124	△35,746
営業利益			930,074		2,171,425		1,241,351

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)			当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)			比較増減	
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)	
IV 営業外収益									
1 受取利息	※4	36,798			31,801			△4,997	
2 有価証券利息		64,662			36,046			△28,616	
3 受取配当金	※4	74,820			103,498			28,677	
4 投資有価証券売却益		140,468			76,322			△64,145	
5 受取家賃	※4	70,065			69,954			△110	
6 為替差益		69,947			15,760			△54,186	
7 その他		91,936	548,699	0.7	79,569	412,953	0.5	△12,367	△135,745
V 営業外費用									
1 支払利息		2,695			2,621			△74	
2 投資有価証券売却損		8,084			5,548			△2,536	
3 貸貸原価		55,493			59,248			3,755	
4 工場休止費用		86,399			93,068			6,669	
5 その他		12,185	164,858	0.2	6,289	166,776	0.2	△5,896	1,917
経常利益			1,313,914	1.8		2,417,602	3.2		1,103,687
VI 特別利益									
1 前期損益修正益	※5	—			124,966			124,966	
2 固定資産売却益	※2	9,539			430			△9,109	
3 投資有価証券売却益		—			10,287			10,287	
4 貸倒引当金戻入益		26,947			19,646			△7,300	
5 賞与引当金戻入益		—			24,937			24,937	
6 退職給付制度間移行利益		88,985	125,471	0.2	—	180,267	0.2	△88,985	54,795
VII 特別損失									
1 固定資産処分損	※3	64,814			13,985			△50,828	
2 減損損失	※6	—			373,054			373,054	
3 投資有価証券売却損		—			3,916			3,916	
4 借地権解約損		12,441			—			△12,441	
5 その他		391	77,646	0.1	26,956	417,913	0.5	26,564	340,266
税引前当期純利益			1,361,739	1.9		2,179,957	2.9		818,217
法人税、住民税 及び事業税		591,390			1,240,342			648,951	
法人税等調整額		80,455	671,846	0.9	△242,389	997,952	1.3	△322,844	326,106
当期純利益			689,893	1.0		1,182,004	1.6		492,110
前期繰越利益			1,225,145						
中間配当額			257,563						
当期末処分利益			1,657,475						

③ 利益処分計算書

		前事業年度 株主総会承認日 (平成18年5月25日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	
I 当期未処分利益			1,657,475
II 任意積立金取崩額			
1 特別償却準備金取崩額		11,551	11,551
合計			1,669,027
III 利益処分数額			
1 配当金		257,819	
2 任意積立金			
特別償却準備金		18,743	276,562
IV 次期繰越利益			1,392,464

(注) 平成17年8月31日の株主に対し、257,563千円(1株につき8円00銭)の中間配当を実施いたしました。

④ 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成18年2月28日残高(千円)	4,298,354	11,881,796	70,577	11,952,374
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			188	188
特別償却準備金の積立				
平成18年5月25日開催の定時株主総会決議による特別償却準備金の取崩				
その他の事由による特別償却準備金の取崩				
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計(千円)	—	—	188	188
平成19年2月28日残高(千円)	4,298,354	11,881,796	70,766	11,952,562

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年2月28日残高(千円)	590,000	50,155	8,000,000	1,657,475	10,297,631	△28,113	26,520,246
事業年度中の変動額							
剰余金の配当				△515,623	△515,623		△515,623
当期純利益				1,182,004	1,182,004		1,182,004
自己株式の取得						△6,213	△6,213
自己株式の処分						459	648
特別償却準備金の積立		18,743		△18,743	—		—
平成18年5月25日開催の定時株主総会決議による特別償却準備金の取崩		△11,551		11,551	—		—
その他の事由による特別償却準備金の取崩		△15,665		15,665	—		—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計(千円)	—	△8,474	—	674,855	666,381	△5,754	660,815
平成19年2月28日残高(千円)	590,000	41,681	8,000,000	2,332,330	10,964,012	△33,867	27,181,062

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年2月28日残高(千円)	413,126		413,126	26,933,373
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△515,623
当期純利益				1,182,004
自己株式の取得				△6,213
自己株式の処分				648
特別償却準備金の積立				—
平成18年5月25日開催の定時 株主総会決議による特別償却 準備金の取崩				—
その他の事由による特別償却 準備金の取崩				—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	67,081	58,971	126,052	126,052
事業年度中の変動額合計 (千円)	67,081	58,971	126,052	786,867
平成19年2月28日残高(千円)	480,207	58,971	539,178	27,720,240

重要な会計方針

項目	前事業年度 (自 平成17年 3月 1日 至 平成18年 2月28日)	当事業年度 (自 平成18年 3月 1日 至 平成19年 2月28日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>有価証券</p> <p>(1) 子会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの 事業年度末の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p>	<p>有価証券</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの 事業年度末の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>なお、投資事業有限責任組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な直近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。</p>
2 デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>デリバティブ 時価法</p>	<p>デリバティブ 同左</p>
3 たな卸資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 商品(国産牛肉) 個別法による原価法</p> <p>(2) 商品(その他) 個別法による低価法</p> <p>(3) 製品(国産牛肉) 個別法による原価法</p> <p>(4) 製品(その他)・仕掛品 移動平均法による低価法</p> <p>(5) 原材料(国産牛肉) 個別法による原価法</p> <p>(6) 原材料(その他の肉) 個別法による低価法</p> <p>(7) 原材料(その他) 移動平均法による低価法</p> <p>(追加情報) ㈱ムラチクと合併したことにより、当事業年度より評価基準及び評価方法を細分しております。</p>	<p>(1) 商品(国産牛肉) 同左</p> <p>(2) 商品(その他) 同左</p> <p>(3) 製品(国産牛肉) 同左</p> <p>(4) 製品(その他)・仕掛品 同左</p> <p>(5) 原材料(国産牛肉) 同左</p> <p>(6) 原材料(その他の肉) 同左</p> <p>(7) 原材料(その他) 同左</p>
4 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法 ただし、平成10年 4月 1日以降取得の建物(建物附属設備を除く)は定額法。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物…………… 7年～50年 機械装置… 4年～12年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法 なお、営業権については5年間均等償却によっております。また、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法</p>	<p>(1) 有形固定資産 定率法 ただし、平成10年 4月 1日以降取得の建物(建物附属設備を除く)は定額法。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物…………… 3年～50年 機械装置… 2年～12年</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p>

項目	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
5 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権及び破産更生債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準に基づき計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(追加情報) 当社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成17年3月1日に適格退職年金制度及び退職一時金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。 本移行に伴う影響額88,985千円は「退職給付制度間移行利益」として特別利益に計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 同左</p>
6 リース取引の処理方法	<p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	同左
7 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。 また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を行っております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 先物為替予約 ヘッジ対象 外貨建商品仕入による外貨建債務及び外貨建予定取引</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</p>

項目	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
	<p>(3) ヘッジ方針 先物為替予約は為替変動リスクをヘッジするため、外貨建商品仕入の年間計画額を上限として、一定のヘッジ比率以上の為替予約を実施することとし、社内管理規程に基づき、輸入食肉事業部を取引の執行部署、経理部を管理の所管部署とするリスク管理体制をとっております。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 ヘッジ会計の要件を満たすかどうかを判定するため、先物為替予約額がヘッジ対象取引額の範囲内であることを毎月確認しております。</p>	<p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 同左</p>
8 その他財務諸表作成のための重要な事項	消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左

会計処理の変更

<p>前事業年度 (自 平成17年 3月 1日 至 平成18年 2月28日)</p>	<p>当事業年度 (自 平成18年 3月 1日 至 平成19年 2月28日)</p>
<p>—————</p> <p>—————</p> <p>—————</p>	<p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>当社は「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。</p> <p>これにより営業利益及び経常利益は1,603千円増加し、税引前当期純利益が371,450千円減少しております。</p> <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等)</p> <p>当事業年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。</p> <p>これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は27,661,269千円であります。</p> <p>財務諸表等規則の改正により、当事業年度における財務諸表は、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p> <p>前事業年度において「負債の部」に表示しておりました「繰延ヘッジ利益」は、当事業年度から税効果調整後の金額を「評価・換算差額等」の内訳科目の「繰延ヘッジ損益」として表示しております。</p> <p>なお、前事業年度の繰延ヘッジ利益について、当事業年度と同様の方法によった場合の金額は28,727千円であります。</p> <p>(役員賞与に関する会計基準)</p> <p>当事業年度から「役員賞与に関する会計基準(企業会計基準委員会 平成17年11月29日 企業会計基準第4号)を適用しております。</p> <p>これにより営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が、13,300千円減少しております。</p>

表示方法の変更

前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
<p>(貸借対照表)</p> <p>前事業年度において、投資その他の資産の「その他」に表示しておりました「差入保証金」(前事業年度は61,950千円)については、総資産額の100分の1を超えたため、当事業年度より区分掲記しております。</p>	<p>(貸借対照表)</p> <p>前事業年度において、流動資産の「その他」に表示しておりました「前払費用」(前事業年度は28,740千円)については、重要性及び明瞭性を勘案し、当事業年度より区分掲記しております。</p> <p>前事業年度において、投資その他の資産の「その他」に表示しておりました「出資金」(前事業年度は4,900千円)については、重要性及び明瞭性を勘案し、当事業年度より区分掲記しております。</p> <p>(損益計算書)</p> <p>前事業年度において、販売費及び一般管理費の「その他」に表示しておりました「車輛費」(前事業年度は214,630千円)については、販売費及び一般管理費の100分の5を超えたため、当事業年度より区分掲記しております。</p>

追加情報

前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
<p>(法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示について)</p> <p>「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業会計基準委員会 実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管理費に計上しております。</p> <p>この結果、販売費及び一般管理費が44,500千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ同額減少しております。</p>	

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成18年2月28日)	当事業年度 (平成19年2月28日)																														
<p>※1 担保に供している資産及び担保に供されている債務 仕入債務197,604千円に対して、下記の資産を担保に供しております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">定期預金</td> <td style="text-align: right;">25,707千円</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">913,384千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">1,123,710千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,062,803千円</td> </tr> </table>	定期預金	25,707千円	建物	913,384千円	土地	1,123,710千円	計	2,062,803千円	<p>※1 担保に供している資産及び担保に供されている債務 仕入債務191,991千円に対して、下記の資産を担保に供しております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">定期預金</td> <td style="text-align: right;">44,710千円</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">840,841千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">1,123,710千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,009,262千円</td> </tr> </table>	定期預金	44,710千円	建物	840,841千円	土地	1,123,710千円	計	2,009,262千円														
定期預金	25,707千円																														
建物	913,384千円																														
土地	1,123,710千円																														
計	2,062,803千円																														
定期預金	44,710千円																														
建物	840,841千円																														
土地	1,123,710千円																														
計	2,009,262千円																														
<p>※2 取得価額より控除した圧縮記帳額 車両運搬具 217千円</p>	<p>※2 取得価額より控除した圧縮記帳額 車両運搬具 217千円</p>																														
<p>※3 授権株式数等 授権株式数 普通株式 120,000,000株 ただし、定款の定めにより株式の消却が行われた場合には、これに相当する株式数を減ずることとなっております。 発行済株式総数 普通株式 32,267,721株</p>	<p>※3 ———</p>																														
<p>※4 自己株式の保有数 普通株式 40,308株</p>	<p>※4 ———</p>																														
<p>※5 関係会社項目 関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">521,692千円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">988,808千円</td> </tr> </table>	売掛金	521,692千円	買掛金	988,808千円	<p>※5 関係会社項目 関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">465,661千円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">1,370,422千円</td> </tr> </table>	売掛金	465,661千円	買掛金	1,370,422千円																						
売掛金	521,692千円																														
買掛金	988,808千円																														
売掛金	465,661千円																														
買掛金	1,370,422千円																														
<p>6 配当制限 商法施行規則第124条第3号に規定する金額は433,064千円であります。</p>	<p>6 ———</p>																														
<p>7 保証債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 60%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕入債務</td> <td style="text-align: right;">5,269千円</td> </tr> <tr> <td>FREMONT BEEF COMPANY</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(US\$45,306)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>為替先物予約</td> <td style="text-align: right;">604,812千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(US\$5,200,000)</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	種類	金額		仕入債務	5,269千円	FREMONT BEEF COMPANY		(US\$45,306)		為替先物予約	604,812千円			(US\$5,200,000)	<p>7 保証債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 60%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕入債務</td> <td style="text-align: right;">1,697千円</td> </tr> <tr> <td>FREMONT BEEF COMPANY</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(US\$14,331)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>為替先物予約</td> <td style="text-align: right;">12,966千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(US\$107,686)</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	種類	金額		仕入債務	1,697千円	FREMONT BEEF COMPANY		(US\$14,331)		為替先物予約	12,966千円			(US\$107,686)
保証先	種類	金額																													
	仕入債務	5,269千円																													
FREMONT BEEF COMPANY		(US\$45,306)																													
	為替先物予約	604,812千円																													
		(US\$5,200,000)																													
保証先	種類	金額																													
	仕入債務	1,697千円																													
FREMONT BEEF COMPANY		(US\$14,331)																													
	為替先物予約	12,966千円																													
		(US\$107,686)																													

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)																								
※1 一般管理費に含まれる研究開発費 107,384千円	※1 一般管理費及び当期総製造費用に含まれる研究開発費 86,219千円																								
※2 固定資産売却益の内訳 車両運搬具 9,539千円	※2 固定資産売却益の内訳 車両運搬具 430千円																								
※3 固定資産処分損の内訳 建物 35,884千円 構築物 1,027千円 機械及び装置 21,756千円 車両運搬具他 6,146千円 計 64,814千円	※3 固定資産処分損の内訳 建物 87千円 構築物 47千円 機械及び装置 9,990千円 車両運搬具他 3,859千円 計 13,985千円																								
※4 関係会社に係る注記 受取利息 34,439千円 受取配当金 59,710千円 受取家賃 66,906千円	※4 関係会社に係る注記 受取利息 30,518千円 受取配当金 76,090千円 受取家賃 66,795千円																								
※5 ———	※5 前期損益修正益の内容 税務当局により過年度の損益について指摘を受けたため修正したものです。																								
※6 ———	<p>※6 減損損失額の内訳 当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休</td> <td>土地 構築物</td> <td>大阪府 泉佐野市</td> <td>265,254</td> </tr> <tr> <td>遊休</td> <td>土地</td> <td>兵庫県 淡路市</td> <td>75,143</td> </tr> <tr> <td>遊休</td> <td>土地</td> <td>鹿児島県 鹿屋市</td> <td>15,985</td> </tr> <tr> <td>遊休</td> <td>土地等</td> <td>愛知県 小牧市他</td> <td>16,670</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>373,054</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、営業所単位を基本とし、遊休資産については当該資産単独で資産のグルーピングを行っております。</p> <p>当社は、保有する資産グループの資産査定を実施し、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失373,054千円を計上しました。</p> <p>減損損失の内訳は、土地354,313千円、建物6,734千円、構築物7,285千円、機械及び装置4,720千円であります。</p> <p>回収可能価額は正味売却価額及び使用価値により測定しており、土地の正味売却価額は路線価等により評価、建物、構築物及び機械装置等についてはゼロ評価とし、使用価値は将来キャッシュ・フローを7%で割り引いて算定しております。</p>	用途	種類	場所	金額 (千円)	遊休	土地 構築物	大阪府 泉佐野市	265,254	遊休	土地	兵庫県 淡路市	75,143	遊休	土地	鹿児島県 鹿屋市	15,985	遊休	土地等	愛知県 小牧市他	16,670	合計			373,054
用途	種類	場所	金額 (千円)																						
遊休	土地 構築物	大阪府 泉佐野市	265,254																						
遊休	土地	兵庫県 淡路市	75,143																						
遊休	土地	鹿児島県 鹿屋市	15,985																						
遊休	土地等	愛知県 小牧市他	16,670																						
合計			373,054																						

(株主資本等変動計算書関係)

当事業年度（自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日）

自己株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,308	5,907	640	45,575

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は次の通りであります。

単元未満株式の買取による増加 5,907 株

減少数の主な内訳は次の通りであります。

単元未満株式の売却による減少 640 株

リース取引関係

前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)				当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)			
1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引				1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引			
① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額				① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額			
(単位：千円)				(単位：千円)			
	取得価額 相当額	減価償却 累計相当額	期末残高 相当額		取得価額 相当額	減価償却 累計相当額	期末残高 相当額
機械装置 及び運搬具	200,011	159,254	40,757	機械装置 及び運搬具	187,656	175,939	11,716
工具、器具 及び備品	42,489	33,089	9,400	工具、器具 及び備品	20,379	15,423	4,955
合計	242,500	192,343	50,157	合計	208,036	191,363	16,672
② 未経過リース料期末残高相当額				② 未経過リース料期末残高相当額			
1年以内	39,133千円			1年以内	8,979千円		
1年超	12,741千円			1年超	8,061千円		
合計	51,874千円			合計	17,040千円		
③ 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額				③ 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額			
支払リース料	45,874千円			支払リース料	37,205千円		
減価償却費相当額	43,644千円			減価償却費相当額	35,590千円		
支払利息相当額	1,208千円			支払利息相当額	654千円		
④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法				④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法			
減価償却費相当額の算定				減価償却費相当額の算定			
・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				同左			
利息相当額の算定方法				利息相当額の算定方法			
・リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。				同左			
2 オペレーティング・リース取引未経過リース料				2 オペレーティング・リース取引未経過リース料			
未経過リース料				未経過リース料			
1年以内	3,339千円			1年以内	5,972千円		
1年超	3,515千円			1年超	8,942千円		
合計	6,855千円			合計	14,915千円		

有価証券関係

前事業年度（平成18年2月28日）

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

	貸借対照表計上額	時価	差額
子会社株式	2,523,910千円	3,796,957千円	1,273,047千円

当事業年度（平成19年2月28日）

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

	貸借対照表計上額	時価	差額
子会社株式	2,591,067千円	2,553,538千円	△37,529千円

税効果会計関係

前事業年度 (平成18年2月28日)	当事業年度 (平成19年2月28日)
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な原因別の内訳</p> <p>(1) 流動資産</p> <p>繰延税金資産</p> <p>賞与引当金 127,684千円</p> <p>その他 75,332千円</p> <p>繰延税金資産合計 203,016千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>その他有価証券評価差額金 485千円</p> <p>繰延税金負債合計 485千円</p> <p>繰延税金資産の純額 202,530千円</p> <p>(2) 固定資産</p> <p>繰延税金資産</p> <p>退職給付引当金 69,146千円</p> <p>役員退職慰労引当金 84,352千円</p> <p>会員権評価損等 2,849千円</p> <p>土地評価損 223,921千円</p> <p>その他 140,407千円</p> <p>繰延税金資産小計 520,677千円</p> <p>評価性引当額 20,108千円</p> <p>繰延税金資産合計 500,568千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>その他有価証券評価差額金 286,602千円</p> <p>特別償却準備金 39,897千円</p> <p>その他 927千円</p> <p>繰延税金負債合計 327,427千円</p> <p>繰延税金資産の純額 173,141千円</p>	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な原因別の内訳</p> <p>(1) 流動資産</p> <p>繰延税金資産</p> <p>賞与引当金 148,772千円</p> <p>その他 107,254千円</p> <p>繰延税金資産合計 256,026千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>その他有価証券評価差額金 3,607千円</p> <p>為替予約評価差額 40,979千円</p> <p>繰延税金負債合計 44,587千円</p> <p>繰延税金資産の純額 211,438千円</p> <p>(2) 固定資産</p> <p>繰延税金資産</p> <p>退職給付引当金 84,930千円</p> <p>役員退職慰労引当金 88,948千円</p> <p>会員権評価損等 14,500千円</p> <p>土地評価損 223,921千円</p> <p>減損損失 150,296千円</p> <p>その他 116,439千円</p> <p>繰延税金資産合計 679,036千円</p> <p>繰延税金負債</p> <p>その他有価証券評価差額金 330,095千円</p> <p>特別償却準備金 28,985千円</p> <p>その他 927千円</p> <p>繰延税金負債合計 360,008千円</p> <p>繰延税金資産の純額 319,027千円</p>
<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>法定実効税率 41.0%</p> <p>(調整)</p> <p>交際費等永久に損金に算入されない項目 2.3%</p> <p>受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △2.0%</p> <p>住民税均等割等 2.5%</p> <p>営業権の償却 5.6%</p> <p>その他 △0.1%</p> <p>税効果会計適用後の法人税等の負担率 49.3%</p>	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <p>法定実効税率 41.0%</p> <p>(調整)</p> <p>交際費等永久に損金に算入されない項目 1.5%</p> <p>受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △1.6%</p> <p>住民税均等割等 1.6%</p> <p>営業権の償却 3.5%</p> <p>その他 △0.2%</p> <p>税効果会計適用後の法人税等の負担率 45.8%</p>

1 株当たり情報

項目	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
1株当たり純資産額	835.73円	860.29円
1株当たり当期純利益	21.47円	36.68円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	同左

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前事業年度末 (平成18年2月28日)	当事業年度末 (平成19年2月28日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	—	27,720,240
普通株式に係る純資産額(千円)	—	27,720,240
差額の主な内訳	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	—	32,267,721
普通株式の自己株式数(株)	—	45,575
1株当たり純資産の算定に用いられた 普通株式の数(株)	—	32,222,146

2 1株当たり当期純利益

	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)	当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
当期純利益(千円)	689,893	1,182,004
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	689,893	1,182,004
普通株式の期中平均株式数(株)	32,132,797	32,225,233
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

2. 役員の異動

(1) 代表者の異動

該当事項はありません。

(2) その他役員の異動（平成19年5月24日付）

① 新任取締役候補

氏名	新	現
石神 高	社外取締役 (丸紅株式会社食料部門長代行)	——

② 退任予定取締役

氏名	新	現
西村 吉治	——	常務取締役 姫路支店長
永坂 峰一	参与	取締役
西田 健一	——	社外取締役

③ 取締役担当変更

氏名	新	現
森島 良光	取締役 製品事業部長兼加熱製品部長	取締役 執行役員 製品事業部長兼加熱製品部長
辻田 昭廣	取締役 輸入食肉事業部長	取締役 執行役員 輸入食肉事業部長
平井 博勝	取締役 国内食肉事業部長兼姫路支店長	取締役 執行役員 国内食肉事業部長